



宇津木台 森遊会 実施報告

「第10回定例活動」

No.2012-10

実施日	2013年1月27日(日) 9:30~15:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：15名(男性12、女性3) 衣川、後藤、中田(直)、鈴木(健)、林、神宮、田原、腰越、磯田、細野、諸岡、北澤、上田、松山、富田(さ) インストラクター：金森		

実施内容

活動2年目の第10回目。オリンパス技術開発センター宇津木に10時集合。午前は水辺の整備、昼食後は緑地内とさらにその周辺を散策する。1年で最も寒い時期ではあるが日差しが暖かった。

鋸(大・小)、剪定ばさみ、スコップ、熊手などを持って現地へ向かう。緑地を管理されているノースパークさんによって、最近、笹刈りや落ち葉かき、落ちた枝の整理がされたようで遊歩道まわりや広場がたいへん綺麗になっている。まずは水辺整備のポイントを説明する。

- ・昨年度整備した区間は落ちてきた枝を片付ける程度で手を入れない。(冬眠している虫や卵に配慮)
- ・今回整備する区間は明るくするため基本的に低木は全て伐る。(景観上数本を残してもよい)
- ・伐ったものは対岸にまとめて積んでおく。(水辺の生き物の隠れ家になる)
- ・落ち葉や泥はそのまま残す。(取り除いてもすぐに埋まってしまうため) ゴミは拾う。

作業を開始して間もなく、アオキや笹、ヒサカキによって暗かった水辺がみるみるうちに明るくなってゆく。2時間後、約100mの区間が完了した。小川を緑地内の下流まで全員で歩いてみたが、ここ2年間で全体のおよそ10分の3が終わった程度で先はまだまだ長い。しかし、今回の区間が春から夏にどのような生き物が見られるか確認したうえで下流の整備をどう進めるか検討することができる。

午後は緑地内を一周してみる。八高線側までかなり広いこと、風で折れたコナラが多いこと、北側に湧水があることを確認した。近所にある由緒ある古いオオイチョウを見学した。



小川がわからないほどに生い茂って隠されていた～作業開始



みるみる綺麗になってゆく



2時間で100mが蘇った



冬晴れの中記念撮影



焚火で暖をとる



温かいコーンスープ



付近を散策、平町のオオイチョウにて

連絡事項

- ・使用した鋸を掃除した際、指先を切った者が1名いた。手当を必要とするレベルではなかった。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大1個を指定された場所に置く。
- ・次回は、2月24日、バードウォッチングと設置してある巣箱の掃除を予定する。